

## フランクフルトブックフェア 2014 ご報告

前回の通信でお伝えしたとおり、世界最大の図書展フランクフルトブックフェアに参加してきました。HPのお知らせにも掲載しましたが、主要なトピックは以下にまとめましたので、どうぞご覧ください。

[http://www.trannet.co.jp/pre\\_up/new\\_column/2014/1015.pdf](http://www.trannet.co.jp/pre_up/new_column/2014/1015.pdf)

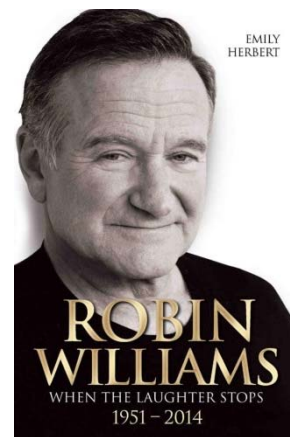
ブックフェア会場では、出版社やエージェンシーが毎日 30 分刻みで 1 日あたり 15~20 件もの商談をこなします。エージェンシーはこうして手に入れた、ときには 1,000 近い数のタイトル情報を持ち帰り、帰国後、自国の出版社に紹介します。出版社はこのなかから厳選して翻訳出版権を買うことになるわけです。感覚的には、日本の出版社に紹介したタイトルのうち、5~10%の日本語訳が実現します。

今回、現地で仕入れたタイトルをいくつかご紹介します。

### **Robin Williams 1951-2014: When the Laughter Stops**

by Emily Herbert

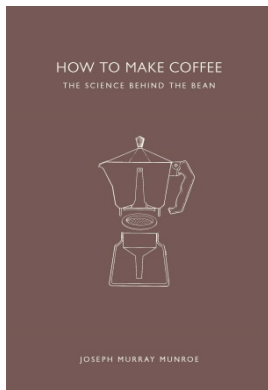
8月11日、ロビン・ウィリアムズの突然の死に世界中に悲しみが広がりました。私も『今を生きる』『グッドモーニング、ベトナム』『グッド・ウィル・ハンティング/旅立ち』等の作品に大いに感銘を受けたこともあり、言いようのない喪失感を覚えます。ユーモアとウィットに長けた天才俳優でしたが、どこか哀愁が漂う彼の演技に魅了された方も多いのではないのでしょうか。



### **Stars and Where to See Them**

by Adam Ford

子供時分から宇宙への興味が尽きない私は、こういう本が大好きです！真面目くさった内容ではなく、エイリアンも登場する本書は遊び心満載。ぜひ日本語版を実現したいものです。



## ***How to make coffee: The Science Behind the Bean***

by Joseph Murray Munroe

コーヒーにうるさい方にはお勧めの一冊。コーヒーも突き詰めると奥が深いですね。

## ***AUSTRALIA 2034: Luckier by Design***

by Marcy Beitle

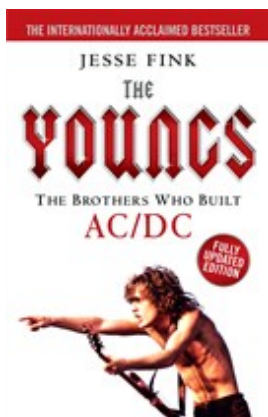
混沌とした世界情勢の中であって、普段はそれほど目立たないけれども独特の歴史と多様性を誇る国、オーストラリア。本書は、経済的にも躍進し、2034年には世界でもまれにみる成功国になるであろうオーストラリアに着目した元 A.T.カーニーのアジアパシフィックエリアのトップによる一冊です。

## ***The Sugar Bush Chronicles: Adventures with the World's Most Photographed Squirrel***

by Kelly Foxtan with Lou Harry

日本では犬や猫を主人公にした本が人気ですが、Sugar Bush Squirrel はフロリダに住むリスのスーパー (?) モデル。何と (リスなのに) 3,000 着を超えるコスチュームを持ち、その愛くるしさが人気を博し、今や世界一有名なリスだそうです。

<http://www.sugarbushsquirrel.com/>



## ***The Youngs: The Brothers Who Built AC/DC***

by Jesse Fink

オーストラリアのハードロックバンド、AC/DC (エーシー・ディーシー)。私はまったく知らなかったのですが、著者の Jesse Fink 氏から、「アメリカやイギリスでベストセラーになっているから、ぜひ日本の出版社に紹介してほしい」とのメッセージが SNS 経由で届きました。最近ではこのように、SNS を使って世界中の著者やエージェント、出版社と直接やり取りする機会も多くなりました。

さて、こうした海外から仕入れたタイトルを日本の編集者さんにご紹介する際、私たちが気をつけているポイントがいくつかあります。現在開催している [ノンフィクションタイトルの翻訳企画募集](#) の要項に書かせていただいた内容と重複する点もありますが、具体的には――

- ① 本国での販売実績はどうか
- ② 著者はその分野での第一人者であり、かつ人気があり、日本でも知られているか
- ③ 類書がなければよし、あれば差別化ができるか
- ④ 旬なテーマか、あるいはこれから注目されるテーマか
- ⑤ 日本人著者には書けないテーマか

(※同じテーマなら日本人著者による書き下ろしのほうが好まれます)

ということです。

例えば最近、ビジネス書に関しては、「スタンフォードで~の」や「マッキンゼーで学んだ~」のように、冠をつけたがる傾向にあります。この流行も一過性のもではあると思いますが、現時点では販売に繋がりがやすく、ウケがいいのは事実のようです。そのため、このような冠をつけらそうなタイトルは喜ばれるでしょう。

編集者さんに気に入っていただき、首尾よく翻訳出版権獲得のオファーをいただいた後は、いよいよ会員の皆様のご協力をいただくこととなります。1冊でも多く、オーディションや Job Shop、あるいはリーディングに繋がられればと思っています！

近谷浩二（ご感想はお気軽に [info01@trannet.co.jp](mailto:info01@trannet.co.jp)）

Copyright(c) 2014 TranNet KK all rights reserved



株式会社トランネット  
〒106-0046 東京都港区元麻布 3-1-35  
c-MA3 A 棟 4 階  
<http://www.trannet.co.jp>